

# こんな事業に取り組みます

## 緊急雇用創出推進事業

国では、雇用失業情勢が厳しいことから、『緊急雇用創出事業臨時特例交付金』を都道府県に交付し、離職を余儀なくされた非正規労働者や中高年齢者などの失業者に対して、次の就職までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する基金事業を実施し、生活の安定を図ることとしています。

北海道は、この交付金を活用して、短期の雇用創出を目的とした『緊急雇用創出推進事業』を実施する市町村に補助金を交付しています。

市は、平成21年度からこの補助事業を活用して、老朽危険家屋対策事業や公共施設駐車場整備事業など12事業を実施し、雇用創出に取り組んでいます。

平成22年度には次の10事業を実施して、市の臨時職員として雇用し、引き続き雇用の創出に取り組めます。

### 平成22年度実施予定の事業

#### 1 市史資料等のデジタル化保存事業

問い合わせ 総務G (☎011-330)

明治5年の開拓・入植当時の貴重な資料『村治類典』をはじめ、市史編さんに使用した資料などが劣化しているため、デジタル化してデータ保存します。

#### 2 新規卒業者等の雇用対策事業 (ワークシェアリング)

問い合わせ 人事・行政管理G (☎011-332)

新規卒業者などで、就職が決まらない求職中の方を支援するため、市の臨時職員として採用します。

#### 3 市民活動センター運営事業

問い合わせ 政策推進G (☎011-322)

平成21年度末に開設する市民活動センターの受付業務や市民活動を促進するための自主事業の展開、それらに伴う業務を行います。

#### 4 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画策定事業

問い合わせ 環境対策G (☎011-2958)

『登別市一般廃棄物処理基本計画』を見直し、新たな計画を策定するため、この業務に伴う事務の補助を行います。

#### 5 福祉マップ更新事業

問い合わせ 社会福祉G (☎011-1911)

市内施設のバリアフリー環境などの再調査を行い、ホームページに掲載している『福祉マップ』の掲載情報を更新します。

#### 6 緊急雇用対策事業

問い合わせ 商工労政G (☎011-2171)

経済雇用情勢が悪化していることから、雇用創出に向けた取り組みを行い、この業務に伴う事務の補助を行います。

#### 7 商工業振興事業

問い合わせ 商工労政G (☎011-2171)

景気低迷などにより増加傾向にある空き店舗などの実態調査を行うとともに、企業や商店会などに対し、国や北海道の支援情報を発信し、廃業などの未然防止を図るため、ホームページの再構築を行います。

#### 8 郷土史写真保存公開事業

問い合わせ 社会教育G (☎011-129)

これまで保存した郷土史写真をパネルにし、展示・公開するとともに、市民の皆さんが保有する古い写真などを提供してもらい、スキャナーで読み取り、デジタル保存を行います。

#### 9 社会教育業務推進事業

問い合わせ 社会教育G (☎011-129)

『ときめき大学』や『婦人短期大学』、『登別市社会教育中期計画』などの見直しのほか、総合型地域スポーツクラブの設立など、社会教育業務の見直しや新規業務を円滑に行うため、この業務の事務補助を行います。

#### 10 農地地図情報システム等情報整理事業

問い合わせ 農業委員会事務局総務G  
(☎011-9190)

平成21年12月15日に施行された新たな農地制度に伴い、適正な審議および透明性の確保が求められているため、農地地図情報システムと台帳照合システムの整理が必要になることから、現行の農地台帳の整理を行います。

※求人申込方法は21ページをご覧ください。  
※『問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です。

問い合わせ

商工労政グループ

☎011-2171